

平成22年度伊予市一般会計補正予算(第4号)

木材乾燥機導入補助金について

問

かつて乾燥機で問題になったことがあったが、さらに今後改善されるのか、また、その問題の軽減にもつながる方向で、導入がなされるのか。

答

木材を乾燥することによって悪臭、ほこり等の被害が出たが、悪臭については、現在の乾燥機を設置している場所から民家の少ないほうに新設し、新設後に独自で倉庫を建築してもらい、併せて音の防止ができるよう特別な装置を設置してもらうことを確認している。また、蒸気等による問題があったが、それについても改善してもらうということで、計画の段階で製材所から改善の計画書を提出してもらっている。

今後問題が発生した場合に、積極的に対応をし、改善していくことを確認している。

大谷池トイレ改築工事に2000万円計上!

問

①工事費の内訳と浄化槽が30人槽となった理由は。
②便器数6の計画であるが、工法及び建坪面積は。
③光熱水費を含む年間維持管理費は。

答

①本体工事が1300万円、浄化槽工事が500万円、排水工事等が200万円、計2000万円となっている。

浄化槽の人槽の積算は、公園関係の公衆便所は便器数に16人を掛けた算出方法をとるが、愛媛県浄化槽管理センターに相談したところ、年中頻繁に使うのではないので、駐車場の浄化槽での判断をいただき30人槽となった。
②3連ユニット式の鉄筋コンクリート造平屋建て、面積14・92平方メートルであり、屋根は木造という形をとっている。なお、工期については、ユニット式は工場生産の2次製品であり、工場生産から完成まで約3カ月で済み、設計から完

成まで約6カ月である。
③光熱水費は算出していないが、現在上三谷広報区のほうに年間16万円で大谷池周辺も含めて、トイレの維持管理をやっていたらいい。

浄化槽の保守管理は、年間4万9200円が必要である。



既存のトイレと建設予定地

消防団詰所の建築及び消防庁舎の用地について

問

①第一分団一部詰所の用地は。
②予算が厳しい中、少しでも多くの詰所を改築するために、設計仕様の標準化を進めるべきではないか。
③伊予消防等事務組合負担金1億1590万円は、消防署の隣接する土地購入費と思う

が、誰からどれだけをどのように購入するのか。

答

①上唐川の下寺集会所の近くに、個人から寄附を受け建築する。現在の詰所も私有地を無償で借りたものであり、地元意向もあるが、基本的には、原状に復して返すこととしている。

②設計仕様の標準化は、基礎部分以外の上部については、基本的に耐火・耐震性に配慮しながら標準化を進めている。
③面積は798平方メートル、地権者は下吾川在住者である。平米単価は、14万5000円、これは不動産鑑定士の評価によるものである。

太陽光発電導入事業について

問

①市内小・中学校11校の太陽光発電の規模決定根拠は一律なのか。
②売電により、年間の程度を予定を立てているのか。
③入札方法の予定は。

答

①太陽光の発電規模は、保守管理の関係で20キロワット未満の19・5キロワットで実施設計を行っているが、学校の屋上への取付けを原則としていたため、設置場所の関係で15または10キロワット等へ変更になったところもある。

②学校現場においては、土曜、日曜、夏休み等に売電の可能性はあるが、実際の金額はまだ積算していない。先行した他県の事例等では、年間20万円程度の収入と聞いている。
③入札は、金額的に小学校が7校なので、4校と3校に分け、中学校は、現在改築工事の中の上灘中学校1校と港南・伊予・中山の3校に分けることを予定している。

